

「沖縄を元気にする農業ブランド」  
“農商工連携具現化プロジェクト”第4回  
活動報告

日 時:平成22年9月15日(水) 9:00~12:00  
会 場:沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター(うるま市洲崎12-75)  
参加者:15名  
講 師:大塚 洋一郎 氏  
(特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター代表理事)  
コーディネーター:近藤 正隆 氏  
(特定非営利活動法人ウヤギー沖縄 理事長)

平成22年9月15日(水)、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターにて“農商工連携具現化プロジェクト”の第4回セミナーを実施いたしました。今回は昨日と同じ会場でセミナーを実施することとなりました。講師は 特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター代表理事 大塚洋一郎氏で、前回作成した「5Pのビジネスモデル」を各グループで発表し、参加メンバーで評価を行い、実際に事業のスタートラインに立つことを目標に、農商工連携プロジェクトメンバー15名が受講しました。

セミナーでは班ごとにビジネスモデルのプレゼンテーションを行い、他参加者が評価をしました。プレゼンテーションは各班2分間ずつ、簡潔に行いました。材料、製造工程、コスト、ターゲット層、流通の方法、製造設備の有無、投資の費用、月毎の生産量、原価の計算など、多岐にわたる内容について、大塚先生や他の参加者からの質問に応えるたびに、これまで露呈しなかった問題点や新しい課題が生じました。

それぞれのプレゼンテーションと評価が終わると、大塚先生は「沖縄の農商工連携の参加グループは、参加者自信で材料を栽培していることに特徴があり、他県ではあまり見られない。生産者側からのアプローチが素晴らしい。今回のセミナーでプランの具現化を実感していただいた。これはほかの事業にも応用できるのでぜひチャレンジして下さい」と述べ、セミナーを締めくくりました。

最後に当セミナーのコーディネーターであるウヤギー沖縄の近藤正隆氏は、今回培うことができたネットワークとプラン具現化のノウハウを活用してくださいと述べました。そして10月1日に開催される「ちよだ青空市」を紹介し、出品に向けた準備の仕方について説明を行



いセミナーは修了しました。

参加者は今回作成したプランをさらに改良させて、  
これをもとにしてこれからの事業に備えています。

